

犬島 (おかやまけん いぬじま)

岡山から、少し気張って瀬戸内海の島にBleisureしましょう。瀬戸内海は1000もの島が多島美をつくっています。島の一つ一つに固有の文化があり、土地に根ざして落ち着いた暮らしをみせています。

ところが本州では難しくなった銅精錬を離島に移そうという動きが起こり、直島、犬島などに精錬所がつくられました。精錬の過程で発生する亜硫酸ガスが山の木々を枯らし、水を汚しました。他の島ではゴミの不法投棄があるなど、美しい瀬戸内の島々が本州の身勝手な犠牲となりました。

そこから、島々の復活を願う活動がアートの手で始まりました。犬島では2008年に精錬所美術館が開館、2010年からは3年に1度開催される「瀬戸内国際芸術祭」に犬島も加わりました。

今にも朽ちるような家もある静かな集落のあちこちに、家プロジェクトのアート作品が花を咲かせています。精錬所美術館を設計した三分一博志は「在る者を生かし、ないものを創る」というプロジェクト原案に基づき、精錬所の遺構を保存、再生し、電気をいらず自然エネルギーだけで館内を快適に保つ建築を実現しました。

犬島まで行くのはちょっと面倒ですが、バス、船を乗り継ぐ旅程そのものがBleisureの醍醐味なのです。



犬島精錬所美術館



家プロジェクトのアート作品



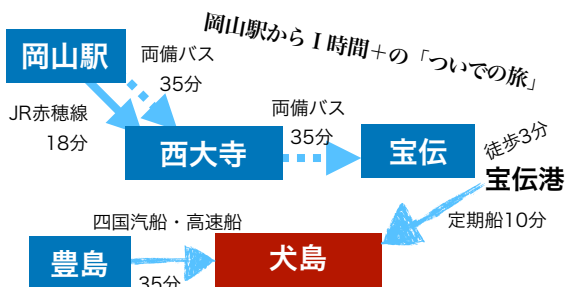
水の石庭・美しい浜辺

アートを超える美をみせる古民家

瀬戸内の小さな島で3時間

岡山県 犬島

宝伝港から定期船で10分ほどで犬島に着きます。島の玄関口といえるのがチケットセンターで、コインロッカーもあり、精錬所美術館+家プロジェクトの観賞共通チケットを販売しています。まずは家プロジェクトを巡って、アート作品を楽しみましょう。終わると海に戻ります。石で有名な犬島らしく、水の石庭のような海が広がります。再びチケットセンターに戻り、気持ちいい芝生を歩いて精錬所美術館へ。精錬の過程でできるカラミ煉瓦の展示を抜けて美術館に入ると、真っ暗なトンネルが待っています。チケットセンターに戻って、折り返す定期船の時刻まで「タコ飯セット」を食べましょう。海をみながらイイ気持ちです。犬島にはコンビニどころかゴミ箱もなくて、全て持ち帰ります。



岡山駅からJR赤穂線orバスで西大寺へ。
 西大寺からバスで宝伝まで行って。犬島に渡る定期船乗り場の宝伝港まで徒歩3分。宝伝港から犬島までは10分の船旅。
 定期船は1日8本だが、曜日によって運休があり、実際に使える時刻は宝伝港→犬島が11:00、13:00、13:45、復りの犬島→宝伝港が13:20、14:00、15:35(精錬美術館開館日のみ)、17:15。定期船の時刻表は・・・
http://www.city.okayama.jp/higashiku/soumu/soumu_00099.html
 ※豊島から犬島へ渡るルートも・・・四国汽船の高速船で1日2本で35分
<http://benesse-artsite.jp/art/seirensho.html>



タコ飯セット



犬島の玄関ともいえるチケットセンター